



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学校だより
令和5年度 2月号



【食育指導～学校給食週間によせて】

学校ブログや Facebook でもお伝えしましたが、1月22日(月)～26日(金)は学校給食週間でした。郷土料理や他の地域・他国の料理など、様々な献立を味わうことができました。また、給食カルタの創作や給食室の見学等を通じて、児童生徒が給食や食べ物について考えたり感謝したりする機会となりました。

文部科学省「食に関する指導の手引き」には、「障害のある児童生徒が、将来自立し、社会参加するための基盤として、望ましい食習慣を身に付け、自分の健康を自己管理する力や食物の安全性等を自ら判断する力などを身に付けることは極めて重要なこと」と記されています。本校でも、「食育指導」として年間の指導計画をたて、給食を含めた食に関する指導に取り組んでいます。

- ・望ましい食事の摂り方やマナーを理解し、よりよい食習慣を身に付ける。
- ・食べ物にはそれぞれ違った働きがあることがわかり、いろいろな物を食べようとする事ができる。
- ・自立に向けて自分で簡単な食事を作ったり、健康的な食事を実践しようとする態度を身に付ける。

これらの指導目標を、児童生徒の生活年齢や実態に応じて、給食指導だけでなく、生活単元学習・家庭科・作業学習・校外学習など、様々な教科や場面に位置づけ、栄養教諭との連携のもとで指導しています。

本校に在籍する子どもたちの中には、その障害特性や発達段階等により、食に対する過敏やこだわり、摂食・嚥下機能の課題等を抱えている子どもも少なくありません。私たちはそうした課題に寄り添いながら、彼らが食に関する正しい知識やよりよい食習慣を身に付け、健康で豊かな生活を送れることを願って指導にあたっています。ご家庭の協力も欠かせません。どうぞよろしくお願ひします。ご家庭でも、折に触れ話題にしたり、調理や配膳の手伝いをしたりするなどしていただけると嬉しいです。(校長 梶谷 淳子)

【居住地校交流・学校間交流】

今年度も、たくさんの児童生徒が居住地校で交流をしました。今年、初めての方は、ドキドキのスタートだったかと思います。「楽しかった。」「また行きたい。」との声を聞いています。昨年度から本格的に実施し、また今年も会えたことを喜び合える子どもたちが増えています。1年1年の積み重ね



で交流が深まっているように思います。相手校の先生方から「また来てください。子どもたちも喜んでいきます。」とお声をいただき、地域の友達との交流が一層進んでいます。そして、今年度、念願の学校間交流が実現しました。知的小学部3・4年生と箭田小学校4年生では、箭田小学校の皆さんが歩いて来校。子どもたちは、当初緊張した面持ちでしたが、だんだんお互いに笑顔があふれ、どちらの子どもたちにとっても充実した時間となりました。箭田小学校の皆さんには、自立活動室・宿泊棟・ランチルーム等の部屋や校内も見いただきました。また、中学部では、販売会に真備中学校の生徒さんが買い物に来てくれました。



自分たちの作った商品を自信をもって販売することを通して、交流をしました。今後も、地域との交流をさらに進めていきたいと思っています。

(小学部教頭 中園 陽子)

←箭田小学校との交流の様子

【イメージキャラクターマスキングテープ販売中】

12月の創立記念式典の日に記念品としてお渡ししたマスキングテープを、1本200円で販売しています。

購入をご希望の方は、事務にお声掛けください。

